

街づくりエネルギーマネジメント推進協議会運営説明会

地域エネルギーデザイン  
東京都心WG

2017年11月9日  
WGリーダー 那須原和良



## COP21

- **2℃を十分下回る水準にし、1.5℃に抑制するよう努力する**
- **低炭素化(low-carbonization)から脱炭素化(de-carbonization)へ**

## 国連 SDGs 持続可能な開発目標

- **誰も置き去りにしない**  
leaving no one left behind
- **193の加盟国 全会一致**  
**17の目標と169のターゲット**

Nations Unies  
Conférence sur les Changements Climatiques 2015

COP21/CMP11

Paris, France



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



東日本大震災、熊本地震をはじめとする大地震、超大型台風やゲリラ豪雨といった極端気象など、近年頻発する自然災害による被害は、さらに甚大さが増加

津波



地震



噴火

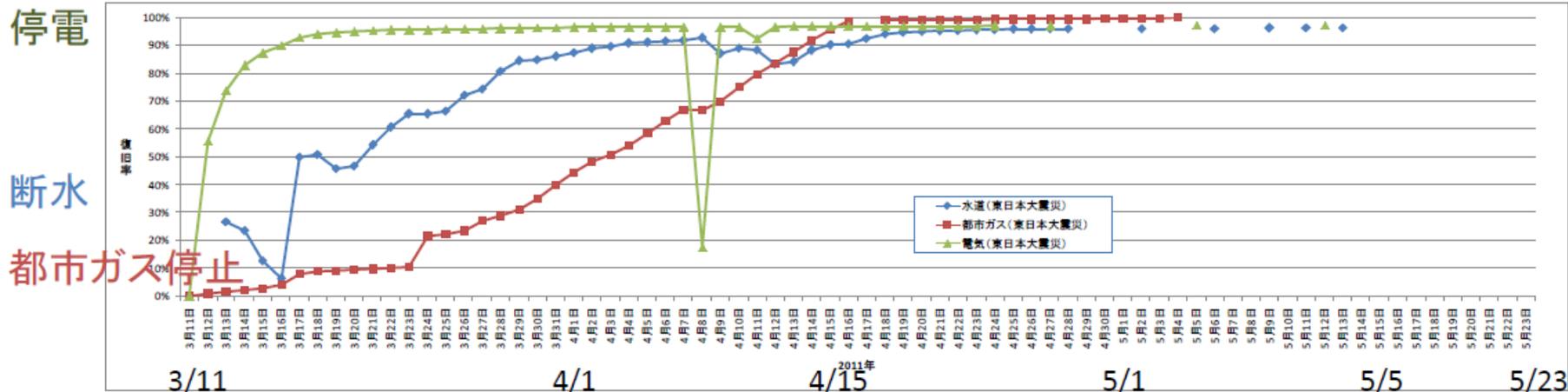


豪雨

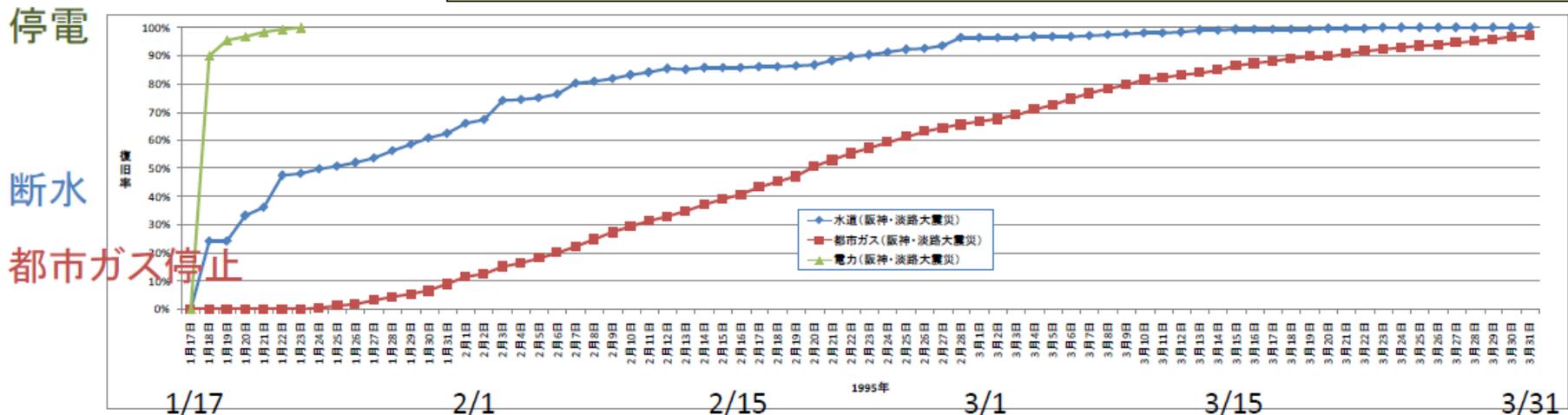


## 東日本大震災(2011年東北地方太平洋沖地震)

東北電力管内のみ

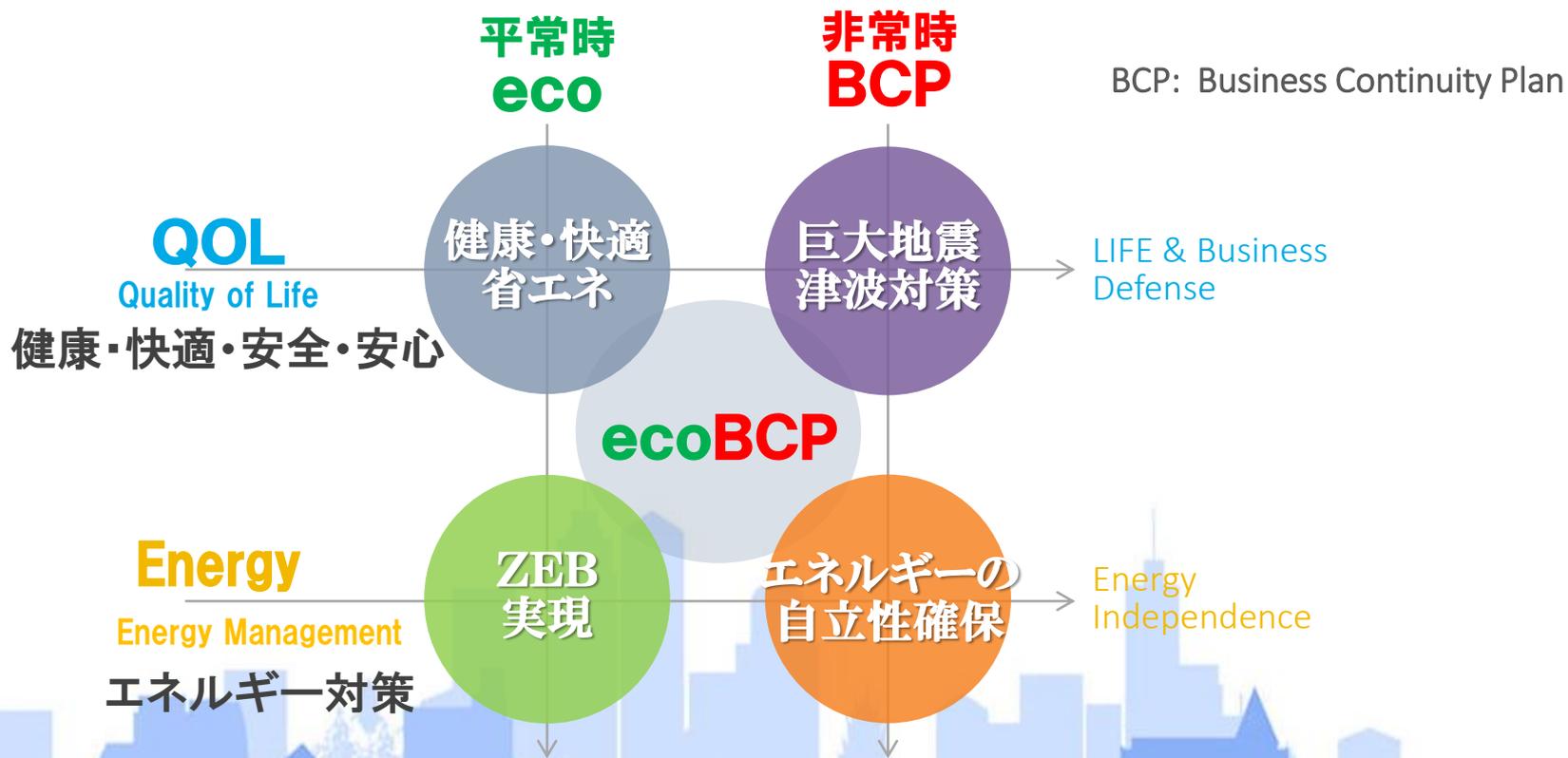


## 阪神・淡路大震災(1995年兵庫県南部地震)



## 環境配慮(eco) + 事業継続(BCP)

非常時の事業継続・エネルギー自立性確保、  
平常時の環境配慮・省エネ対策を兼備した施設・コミュニティづくり



## 地球温暖化対策計画(2016)とその後の動き

- 「日本の約束草案」に基づき、国内の排出削減・吸収量の確保により、2030年度において、2013年度比26.0%減(2005年比▲25.4%)の水準にするとの中期目標の達成に向けて着実に取り組む。  
⇒ 業務、家庭部門に約40%の温室効果ガス削減目標
- パリ協定を踏まえ(中略)、地球温暖化対策と経済成長を両立させながら、長期的目標として2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指す。  
⇒ 環境省と経産省で2050年の目標設定について検討
- 2030年と2050年の間に大きなギャップがある。2050年80%削減を目指すのであれば、大きな社会の転換が必要。  
(例:ガソリン・ディーゼル自動車販売禁止など)
- 業務部門、家庭部門には、ゼロエミッションが求められる。

## 巨大開発が都心で本格化

### ● 都心のエネルギーデザインとは？



## 東京都心のエネルギーデザイン

- 今後建設する建物は、2050年にも存在している。  
2050年時点において、**ゼロエミッション**になっている建物・まちづくりを目指す必要あり。
- 特に東京都心地区は、『日本の顔』として**2050年を見据えたエネルギーデザイン**の検討が必要。
- 東京の都市総合ランキングを下げている『災害に対する脆弱性』に対し、**『業務継続地区(BCD)』**の構築を目指す
- 東京都心の開発が、上記を考慮した方向に進むためには低炭素化やBCDとともに**『魅力あるまちづくり』**を目指すことが必要。



- **都心部における現状調査**
- **都心部における先進事例の調査と施設見学**
- **都心部におけるエネルギーデザイン課題の整理とマッチング**
  - **エリア全体での低炭素化の検討**
  - **業務継続地区(BCD)構築に向けた検討**
  - **官民連携による課題解決のための仕組みづくり**



**END**

